

ポゾリス[®] No.89

POZZOLITH[®] NO.89

超遅延性減水剤

ポゾリス No.89は塩化物を含まない超遅延性の減水剤で、使用量を増減させることにより、コンクリートの凝結時間を自由にコントロールすることができます。

ポゾリス No.89は従来の減水剤遅延形と比べ、コンクリートの凝結時間を大幅に遅延させることができますので、大型構造物、連続打設を必要とする海洋構造物、スライディング工法や暑中コンクリート対策などに有効です。

特長

1. 使用量を増減させることにより、コンクリートの凝結時間を任意にコントロールできます。
2. セメントの初期水和反応を抑制し、水和熱を低減させるとともに、コンクリートの最高温度を低下させます。
3. 単位水量を大幅に減少できます。
4. 透水性が小さくなり、水密性が向上します。
5. 無塩化タイプですので、耐久性に優れたコンクリートを作ることができます。

主成分および物性

主成分	外観	密度 (g/cm ³ 、20°C)	全アルカリ量* (%)	塩化物イオン量* (%)
変性リグニンスルホン酸化合物とオキシカルボン酸化合物の複合体	暗褐色液体	1.09~1.13	3.4	0.01

*全アルカリ量・塩化物イオン量は分析値例です。

用途

- コールドジョイントの防止
- 打継目部の完全な一体化
- 海洋コンクリート工事の打継目部
- 連続打設の大量施工コンクリート
- 高温時のコンクリート打設など

使用量と使用方法

1. ポゾリス No.89の使用量は、セメント質量に対して0.3~1.2%の範囲で、目標の凝結時間が得られるように試し練りによって定めてください。
2. 本剤はコンクリートの練混ぜ時に原液のままか、あるいは適当な濃度に希釈してご使用ください。また、単位水量の一部として水に混合してご使用ください。

空気量の調整方法

ポゾリス No.89は、ほとんど空気連行性はありません。このためAEコンクリートとする場合には、専用のAE剤で調整してください。なお、良質なAE剤の適当量を、本剤とは別途に計量して空気量を調整する方法もあります。空気量の調整方法は、当社セールスマンにご相談ください。

性能

JIS A 6204による性能評価例

品質項目		減水剤 遅延形規定値	試験値	評価
減水率	(%)	4以上	7	適合
ブリーディング量の比	(%)	100以下	69	適合
凝結時間の差 (min)	始 発	+60~+210	+120	適合
	終 結	0~+210	+115	適合
圧縮強度比 (%)	材 齢 7 日	110以上	129	適合
	材 齢 28 日	110以上	120	適合
長さ変化比	(%)	120以下	101	適合

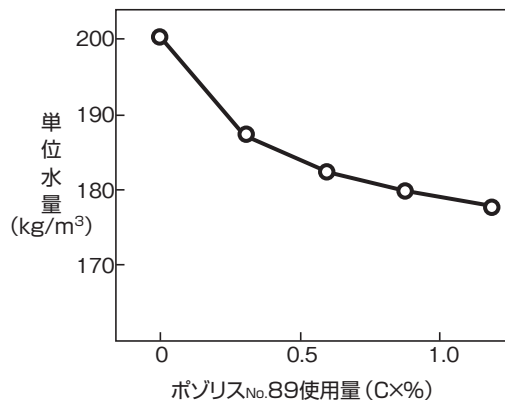
使用材料/セメント: 普通ポルトランドセメント3銘柄等量混合
粗骨材: 青梅産砕石(表乾密度: 2.65g/cm³, MS: 20mm)
細骨材: 大井川水系陸砂(表乾密度: 2.60g/cm³, FM: 2.67) 混和剤: ポソリスNo.89 (C×0.4%)

コンクリートの試験結果例

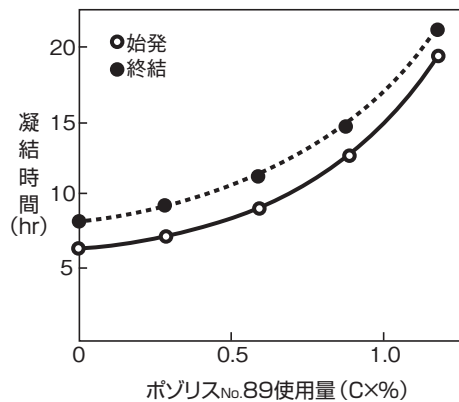
温度 (°C)	混和剤		W/C (%)	s/a (%)	単用量 (kg/m ³)		スラング (cm)	空気量 (%)	凝結時間 (h:m)		圧縮強度 (N/mm ²)		
	種類	使用量 (C×%)			W	C			始発	終結	3日	7日	28日
20	ポソリス No.89	—	63.1	49	202	320	18.5	1.6	6:15	8:15	12.8	23.1	35.0
		0.3	58.8		188		18.5	2.1	7:20	9:25	15.2	27.1	40.5
		0.6	57.2		183		18.0	2.5	8:45	10:55	17.8	30.5	44.8
		0.9	56.2		180		18.5	2.7	12:20	14:25	17.4	32.0	46.9
		1.2	55.6		178		18.0	2.9	19:25	21:40	17.2	33.8	47.9

使用材料/セメント: 普通ポルトランドセメント 粗骨材: 青梅産砕石(表乾密度: 2.64g/cm³, MS: 20mm)
細骨材: 大井川水系陸砂と市原産山砂の混合砂(表乾密度: 2.62g/cm³, FM: 2.61)

■ 使用量と単位水量の関係



■ 使用量と凝結時間の関係



使用および取扱上の注意事項

1. 本剤を推奨使用量の範囲外で使用する場合は、あらかじめ試し練りで性状を確認するか、当社セールスマンに別途ご相談ください。
2. 本品は他の混和剤や雨水・異物等の混入がないように、また凍結しないように（凍結温度：-3.5℃）保管してください。
3. 凍結した場合には、暖めながら静かにかくはんし、融解させてからご使用ください。
4. 取り扱いに当たっては、保護メガネ、ゴム手袋等の保護具を着用してください。
5. 目に入った場合は、速やかに清浄な水で十分洗眼した後、専門医の診察を受けてください。
6. 皮膚に付着した場合は、速やかに水で洗い流し、必要に応じて専門医の診察を受けてください。
7. 飲み込んだ場合は、多量の水を飲ませ、専門医の診察を受けてください。
8. 廃棄する場合は、都道府県知事の許可を受けた処理業者に処理を委託してください。
9. 使用及び取扱いの前に、当社の製品安全データシート（MSDS）をお読みください。

荷姿

22kgポリ内装箱、220kgドラム缶、バルク

※本商品についてのお問い合わせは、本社混和剤営業部または最寄りの支店・営業所までご連絡ください。

BASF ポズリス株式会社

本 社 東京都港区六本木6丁目10番1号 混和剤営業部 TEL 03-3796-9870 FAX 03-3796-9980
六本木ヒルズ森タワー 21階 建材営業部 TEL 03-3796-9850 FAX 03-3796-9980

仙台支店 TEL 022-224-1631 FAX 022-224-1634 大阪支店 TEL 06-4964-7240 FAX 06-4964-7244
東京支店 TEL 03-3796-9900 FAX 03-3796-9960 福岡支店 TEL 092-481-1271 FAX 092-481-1273
名古屋支店 TEL 052-220-1113 FAX 052-220-1713

札幌営業所 TEL 0123-88-1245 FAX 0123-88-1061 横浜営業所 TEL 045-211-0485 FAX 045-211-0487
宇都宮営業所 TEL 028-621-5261 FAX 028-621-5263 静岡営業所 TEL 054-254-2514 FAX 054-254-2515
千葉営業所 TEL 043-266-6181 FAX 043-266-6183 広島営業所 TEL 082-543-2520 FAX 082-543-2505
上越営業所 TEL 025-524-1777 FAX 025-524-3852 高松営業所 TEL 087-833-0271 FAX 087-833-0218
(松本・金沢事務所) 鹿児島営業所 TEL 099-263-8740 FAX 099-263-8741

www.pozzolite.basf.co.jp

●ロゴ・マークならびに弊社の混和剤・床材・グラウト材・補修材をはじめとする各種建設材料の商品名に®マークを付記したものは、BASF社の登録商標です。

●ここに記載された事項は、標準的な試験法に準拠した弊社の実験データにもとづくものでありますが、多岐にわたる条件下での実際の現場結果を確実に保証するものではありません。

●万が一、本資料に提示する以外の方法や分野で本商品をご使用頂く場合には、ご使用者側にて調査検討下さいませようお願い致します。

●本記載事項は、新しい知見により予告なく変更する場合がございますのでご了承ください。

●BASFポズリス株式会社は開発・技術センターと茅ヶ崎工場及び堺製造センターでISO9001を、また開発・技術センターと茅ヶ崎工場においてISO14001を審査登録しています。

